

歯周病とは？

歯周病とは、細菌による感染性疾患であり、歯を支える組織に炎症が起き、悪化すると歯が喪失する恐れがある病気です。歯周病は以下のように進行すると言われています。



①健康な状態

歯肉が引き締まっており、歯周ポケット（歯と歯肉の隙間）がない状態です。



②歯肉炎

歯の周りに歯垢（デンタルpla-ーク）がつき、放置することで歯肉に炎症が起り、赤く腫れるようになります。



③軽度歯周炎

歯周ポケットが深くなり、歯を支える骨（歯槽骨）が溶け始めます。歯を磨くと出血も見られます。



④中等度歯周炎

歯垢がたまり、歯周ポケットから膿が出て口臭が強くなります。歯槽骨の喪失が増えて歯肉が下がり、歯が長く見えたり、歯がグラグラしあげます。



⑤重度歯周炎

歯槽骨の半分以上が溶けてしまい歯がグラグラになります。最終的に、歯の喪失につながります。



Since 1921
Towards Century of Health

お客様窓口 **0120-179418**

受付時間9:00a.m.~5:00p.m.(土曜日、日曜日、祝日を除く)

詳しくは当院の歯科医師・歯科衛生士にご相談ください

株式会社 ジーシー

東京都文京区本郷3丁目2番14号

一度に最大5菌種の
「歯周病原細菌」を検査!!

歯周病細菌検査

お口の健康診断
してみませんか？

お口の中にはたくさんの細菌がいます。

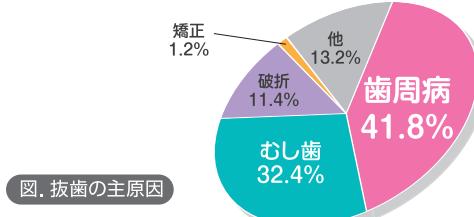
口腔内に必要な菌や、歯周病の原因となる菌などを調べてみませんか？



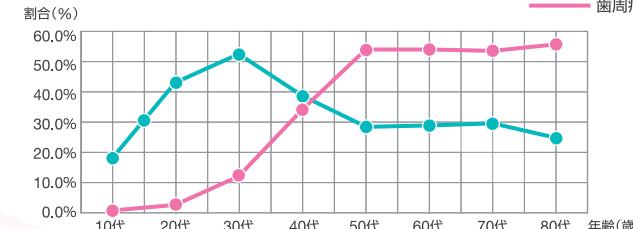
ジーシーサリバチェック ラボ

歯を失う原因

永久歯の喪失というと「むし歯の悪化」「外傷による破折」などを想像されるかもしれません。しかし歯を失う原因は「歯周病」が41.8%でもっと多いのです。



図：抜歯の主原因



図：年齢別による歯を失う原因

歯周病は40代・50代で発症する病気と思われがちですが、実は20代から進行し30代で急増、40代でむし歯を逆転します。
歯周病にならないためには、若い時から早めに適切なプロケア・セルフケアによる予防対策をはじめることが大切です。

検査できる菌種



P.g.菌

ポルフィロモナス・ジンジバリス
慢性歯周炎の発症に
関連が深い菌



A.a.菌

アグリゲイティバクター・
アクチノミセテムコミタンス
侵襲性歯周炎の
発症に関連が
深い菌



T.d.菌

トレポ ネーマ・
デンテ イコーラ
慢性歯周炎の発症に
関連が深い菌



T.f.菌

タンネレラ・
フォーサイセンシス
慢性歯周炎の発症に
関連が深い菌



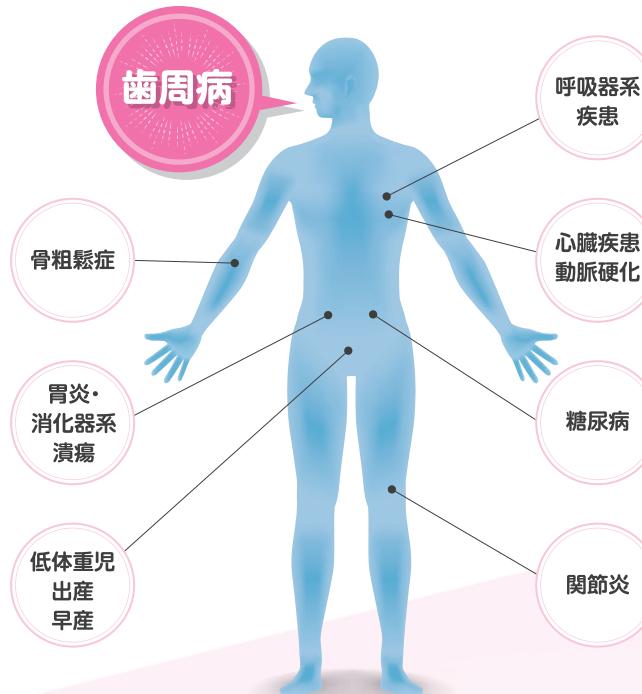
P.i.菌

プレボテラ・
インターメディア
思春期や
妊婦性歯周炎の
発症に関連が深い菌

※イラストはイメージです

歯周病と全身の健康

近年、歯周病原細菌が全身の様々な疾患に影響を与えていることを示す研究結果が多数発表されています。



検査の流れ

当医院ではお口の中の細菌を検査し、細菌の種類によってカウンセリングさせていただきます。

1 間診

口腔内の状態を問診にて確認します。

- 出血の有無
- 歯の本数
- 歯ぐきの状態 など



2 サンプルの採取

歯肉溝滲出液もしくは唾液を採取。

3 検査のお申し込み

採取したサンプルを検査施設に送ります。



検査センターではPCR検査により細菌を検出します。

4 検査結果

細菌検査結果を口腔内についての問診・視診の結果と共にわかりやすく表示してお届けします。

